学校番号	1101

令和八年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	日本史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校「日本史探究」（第一学習社）						
副教材等	日本史探究ノート　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教科書、問題集、プリント資料等を用いて、以下の学習の要点を重視する。
・歴史という時間軸を感じる。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
日本の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに，諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
日本の歴史の展開に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史の展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，日本の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解しているとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付けている。	日本の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時代や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目するとともに、歴史的事象を多面的・多角的に考察し、考察した内容を効果的に表現し、それをもとに議論する力が養われている。	日本の歴史の展開に関する関心と課題意識を高め、よりよい社会の実現を視野にいれたうえで、課題を主体的に探求しようとする態度を養うとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての自覚や、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	原始・古代	第1節　日本文化の黎明 ・日本列島に人々がやってきた ・環境の変化、定住生活の開始 ・農耕の始まりと暮らしの変化 第2節　ヤマト政権と律令国家の形成 ・クニの出現 ・巨大古墳の建造 ・ヤマト政権の列島支配 ・騒乱と国家の誕生 ・強力な天皇の誕生 ・飛鳥・白鳳文化 ・法律作成と暮らしの変化 ・厳しい支配 第3節　律令国家の変容 ・平安京の建造 ・長く続く都と教えの成立 ・貴族による政治 ・平安文化 ・受領による地方支配	a：古代国家の推移、文化の特色とその成立の背景および中世社会の萌芽についての基本的な事柄を、東アジア世界との関係を関連付けて理解し、その知識を身につけているとともに、資料などから有用な情報を収集し、まとめるなどしている。 b：古代国家の展開、文化の特色とその成立の背景から課題を見出し、隋・唐など東アジア世界との関係を関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c：古代国家の形成と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高め、主体的に研究している。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート 協議・発表	提出課題 ノート 振り返りシート等
	中世	第1節　中世への転換 ・院政の始まり ・院政期の文化 ・平清盛が政治権力をにぎる ・武家政権の成立 第2節　鎌倉幕府の展開 ・鎌倉幕府の支配 ・武士の土地支配 ・農業の発達と銭の流通 ・モンゴルの脅威 ・新しい仏教の教えと鎌倉文化 第3節　室町幕府の展開 ・動乱の広まり ・守護大名の台頭 ・東アジア世界との交流 ・商品の流通 ・団結して立ち上がる民衆 ・現代までつながる文化の誕生	a：中世国家の成立と社会の仕組み、文化の特色とその成立過程についての基本的な事柄を、宋・元など東アジア世界との関係と関連付けて理解し、その知識を身につけているとともに、資料などから有用な情報を収集し、まとめるなどしている。 b：中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景から課題を見いだし、東アジア世界との関係を関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c：中世国家の展開と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高め、主体的・意欲的に探究している。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート 協議・発表	提出課題 ノート 振り返りシート等

後期	近世	第1節　近世への転換 ・戦国大名の出現 ・ヨーロッパ文化の到来 ・天下統一の事業 ・秀吉が近世の扉を開く ・安土桃山文化 第2節　幕藩体制の確立 ・江戸幕府の成立 ・蝦夷地と琉球の文化 ・海外渡航の禁止 ・宗教統制 第3節　幕藩体制の展開 ・武士の役割の変化 ・世の中の役割分担 ・産業の発達 ・京・大坂の新しい文化 第4節　社会の変化と幕府の対応 ・幕政改革の始まり ・民衆の不満の爆発 ・迫ってくる外国船 ・江戸中・後期の文化	a：幕藩体制の動揺と変容、近世の都市や農山漁村における生活や文化の特色とその成立の背景、近代化の基礎の形成についての基本的な事柄を欧米諸国のアジア進出と関連付けて理解し、その知識を身につけているとともに、資料などから有用な情報を収集し、まとめるなどしている。 b：近世国家の形成過程とその特色や社会の仕組みから課題を見いだし、ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c：幕藩体制の成立と社会や文化の特色に対する関心と問題意識を高め、国内だけでなく、当時の国際情勢への広い視野をもち、主体的・意欲的に探究している。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート 協議・発表	提出課題 ノート 振り返りシート等
	近代	・第4章～第5章 ・歴史総合で学んだ幕末・明治・大正・昭和の日本の歴史の変遷と特色に関する知識を基盤とした探求	a：近代の歴史の変遷や文化の特色などを歴史総合で得た知識と相互に関連付け、理解を深めるとともに、情報を整理し、まとめるなどしている。 b：近代国家の形成過程とその特色や社会の仕組みから課題を見いだし、多面的・多角的に考察するとともに、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c：歴史総合で学んだ近代史の知識を基盤として、歴史への関心と現代まで繋がる課題への問題意識を高め、国際情勢への広い視野をもち、主体的・意欲的に探究している。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート 協議・発表	提出課題 ノート 振り返りシート等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度